



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社エイジス 上場取引所 東  
 コード番号 4659 URL <https://www.ajis.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 昭生  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 西岡 博之 (TEL) 043-350-0567  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,370	0.6	1,726	△2.7	1,756	△2.2	1,207	0.3
2019年3月期第2四半期	13,295	2.9	1,774	19.1	1,795	19.2	1,203	21.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,188百万円(△1.8%) 2019年3月期第2四半期 1,210百万円(18.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	143.67	—
2019年3月期第2四半期	136.70	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,837	15,079	78.9
2019年3月期	18,846	14,428	75.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 14,855百万円 2019年3月期 14,212百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	3.0	4,000	5.9	4,051	5.8	2,763	4.9	328.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	10,771,200株	2019年3月期	10,771,200株
2020年3月期2Q	2,362,182株	2019年3月期	2,365,827株
2020年3月期2Q	8,406,407株	2019年3月期2Q	8,805,488株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調にあるものの、各地で頻発する自然災害の影響、中国経済の減速や通商問題等による海外経済の懸念等、依然として景気の先行きは不透明な状態が続いております。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましても、業種業態の垣根を越えた競争の激化、人件費の上昇や物流コストの高騰、さらには消費税率の引き上げによる景気後退リスクもあるなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、中期経営計画(2017年度~2019年度)の3年目として、計画に基づいて事業を展開し、中長期での安定的な成長を見据え、さらなる事業基盤の強化に注力しました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高13,370百万円(前年同四半期比0.6%増)、営業利益1,726百万円(前年同四半期比2.7%減)、経常利益1,756百万円(前年同四半期比2.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,207百万円(前年同四半期比0.3%増)となりました。

セグメントごとの業績は、以下の通りであります。

#### I 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、既存顧客の出店増による棚卸店舗数増加や受注業務範囲の拡大等の売上増加要因はありましたが、消費税率変更に関連した棚卸実施月の先送りや既存顧客の棚卸回数減等により、減収となりました。利益面においては、重点施策であります棚卸日程分散の推進や消費税率変更に関連した棚卸実施月の変更により繁閑格差の是正が進み、棚卸経験者比率が改善したことにより、前期に引き続きカウント作業生産性が大きく向上し、増益となりました。売上高は8,271百万円(前年同四半期比2.0%減)セグメント利益は1,607百万円(前年同四半期比10.7%増)となりました。

#### II リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、既存顧客の店舗商品補充業務の受注拡大により、前期に引き続き売上増加基調で推移しております。一方で利益面においては、受注体制構築に向けた人員不足を補うために、新規採用者数が増加したことや店舗作業人員数が増加したことにより、減益となりました。売上高は3,913百万円(前年同四半期比6.6%増)、セグメント利益は80百万円(前年同四半期比67.3%減)となりました。

#### III 海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、米中の貿易摩擦による景気の減速及び中国経済の減速により、既存顧客の棚卸受注店舗数が減少し、減収となりました。利益面においては、売上の減少に加え、中国及び韓国での労働コストの上昇及び中国市場向け新サービス開発費用の増加により、減益となりました。売上高は1,184百万円(前年同四半期比0.0%減)、セグメント利益は24百万円(前年同四半期比61.1%減)となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は18,837百万円(前連結会計年度比0.0%減)となりました。これは、堅調な業績により預金残高は増加しているものの法人税等の納付や配当金の支払により前連結会計年度と同等となりました。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,758百万円(前連結会計年度比14.9%減)となりました。これは、主として国内棚卸サービスにおける棚卸日程分散化・棚卸実施月変更等による9月度の売上減少に伴い人件費の未払金が減少したこと、および未払法人税等の納付によるものです。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は15,079百万円(前連結会計年度比4.5%増)となりました。これは、主として配当金の支払いにより利益剰余金が減少したものの親会社株主に帰属する四半期純利益獲得により利益剰余金が増加したことによるものです。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、8,373百万円(前年同四半期比748百万円増)となりました。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、1,427百万円(前年同四半期比13.3%増)であります。その主な内訳は、収入要因として税金等調整前四半期純利益が1,782百万円、売上債権の減少額が717百万円、支出要因として法人税等の支払額が694百万円であります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、431百万円(前年同四半期比18.2%減)であります。これは、主として投資有価証券および国内棚卸サービスで使用する機器端末などの固定資産の取得による支出によるものです。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、578百万円(前年同四半期比20.5%増)であります。これは、主として配当金の支払額544百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績経過は、概ね計画通りの推移となっております。現時点での通期業績予測につきましては、2019年5月15日に発表いたしました「2019年3月期決算短信」に記載の業績予測と変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,152,203	9,607,514
受取手形及び売掛金	3,954,156	3,227,410
貯蔵品	67,810	31,856
その他	273,494	295,941
流動資産合計	13,447,664	13,162,723
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	776,577	714,058
有形固定資産合計	2,052,972	1,990,453
無形固定資産		
のれん	151,153	132,782
その他	588,818	683,117
無形固定資産合計	739,971	815,899
投資その他の資産		
投資有価証券	1,966,874	2,250,907
その他	639,472	617,769
投資その他の資産合計	2,606,346	2,868,676
固定資産合計	5,399,291	5,675,029
資産合計	18,846,955	18,837,753
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	84,973	60,000
1年内返済予定の長期借入金	6,179	3,497
未払金	2,363,303	1,911,644
未払法人税等	765,160	612,612
賞与引当金	454,813	470,570
役員賞与引当金	6,647	3,594
その他	665,055	625,354
流動負債合計	4,346,133	3,687,272
固定負債		
長期借入金	11,172	9,419
退職給付に係る負債	2,775	3,358
その他	58,429	58,331
固定負債合計	72,377	71,108
負債合計	4,418,511	3,758,381

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	492,088	498,197
利益剰余金	16,956,370	17,617,794
自己株式	△3,746,490	△3,740,806
株主資本合計	14,176,968	14,850,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,514	62,325
為替換算調整勘定	△37,699	△56,618
その他の包括利益累計額合計	35,814	5,706
非支配株主持分	215,660	223,479
純資産合計	14,428,444	15,079,371
負債純資産合計	18,846,955	18,837,753

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	13,295,062	13,370,119
売上原価	9,244,335	9,319,054
売上総利益	4,050,726	4,051,064
販売費及び一般管理費	2,276,206	2,324,363
営業利益	1,774,520	1,726,701
営業外収益		
受取利息	9,738	10,351
受取配当金	5,434	5,591
受取賃貸料	11,261	10,784
その他	7,211	11,634
営業外収益合計	33,645	38,362
営業外費用		
支払利息	504	528
為替差損	5,799	2,596
賃貸費用	5,455	5,258
その他	765	6
営業外費用合計	12,523	8,389
経常利益	1,795,641	1,756,674
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	25,660
投資有価証券売却益	3,999	—
特別利益合計	3,999	25,660
特別損失		
固定資産除却損	1,395	—
特別損失合計	1,395	—
税金等調整前四半期純利益	1,798,246	1,782,334
法人税等	570,061	563,934
四半期純利益	1,228,185	1,218,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,445	10,626
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,203,739	1,207,773



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,228,185	1,218,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,639	△11,189
為替換算調整勘定	△24,581	△18,536
その他の包括利益合計	△17,941	△29,725
四半期包括利益	1,210,243	1,188,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,186,029	1,177,665
非支配株主に係る四半期包括利益	24,213	11,008

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,798,246	1,782,334
減価償却費	182,721	174,253
のれん償却額	18,371	18,371
賞与引当金の増減額(△は減少)	52,254	16,783
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,236	△2,805
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,150	468
受取利息及び受取配当金	△15,172	△15,943
支払利息	504	528
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,999	—
固定資産除却損	1,395	—
売上債権の増減額(△は増加)	240,967	717,164
未払金の増減額(△は減少)	△230,698	△437,150
未払消費税等の増減額(△は減少)	△194,751	△25,580
その他	△37,546	△125,163
小計	1,798,206	2,103,260
利息及び配当金の受取額	12,706	18,922
利息の支払額	△171	△271
法人税等の支払額	△551,350	△694,616
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,259,390	1,427,295
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,271,728	△1,105,760
定期預金の払戻による収入	1,360,593	1,111,520
有価証券の償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△122,414	△103,250
無形固定資産の取得による支出	△21,206	△135,246
投資有価証券の取得による支出	△500,000	△300,000
投資有価証券の売却による収入	4,000	—
差入保証金の差入による支出	△12,820	△13,134
差入保証金の回収による収入	38,638	15,617
その他	△2,001	△934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526,939	△431,187
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,789	△25,745
長期借入金の返済による支出	△1,173	△4,434
自己株式の取得による支出	△284	△173
配当金の支払額	△482,847	△544,976
非支配株主への配当金の支払額	△4,392	△3,165
財務活動によるキャッシュ・フロー	△479,908	△578,495
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,626	△13,958
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	236,916	403,653
現金及び現金同等物の期首残高	7,365,086	7,912,520
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	57,727
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	23,090	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,625,093	8,373,902

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	8,437,450	3,672,604	1,185,007	13,295,062
セグメント間の内部売上高又は 振替高	43,787	53,882	—	97,669
計	8,481,237	3,726,486	1,185,007	13,392,731
セグメント利益	1,452,333	245,095	62,562	1,759,990

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,759,990
セグメント間取引消去	14,529
四半期連結損益計算書の営業利益	1,774,520

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	8,271,780	3,913,372	1,184,965	13,370,119
セグメント間の内部売上高又は 振替高	40,842	40,912	—	81,754
計	8,312,622	3,954,285	1,184,965	13,451,873
セグメント利益	1,607,843	80,112	24,335	1,712,292

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,712,292
セグメント間取引消去	14,409
四半期連結損益計算書の営業利益	1,726,701

以 上